

下郷町青少年育成町民会議だより

青少年の主張発表～前号からのつづき、新年のごあいさつ

新年のごあいさつ

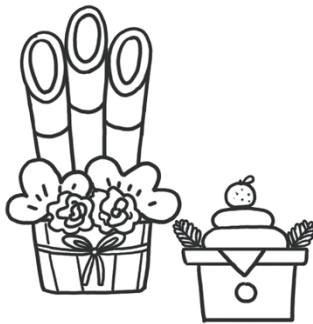
明けましておめでとうございます。昨年は現在抱えている問題に対し、種々のご意見を頂戴致し、誠に有難うございました。本年も青少年育成の為に、皆様のご指導とご支援をお願い申し上げます。

昔より「三つ子の魂 百まで」と云われますが、自らを振り返ってみますと今も猶、幼い頃に培われた何かが私の考え方の根底に流れているのを感じます。ある程度成長してからの体験も大切ですが、その体験をどの様に受け止めるかは、幼少期に培われた何かに大きく左右されると考えます。

数年前に秋田県の東成瀬村を訪ねた折、就学前の子供に「ひとの話を良く聞く事」を徹底して身につける様にしていると言いました。「ひとの話を良く聞く事」を身につけた子供は、家族の言う事は勿論、先生の話を良く聞き分ける一年



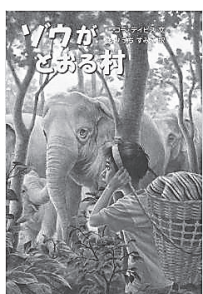
町青少年育成町民会議
会長 白石 光史



生となるのです。自分の事ばかりで他の人の話を聞こうとしない子供とは異なり、成長するに従って二者の差が広がっていくのは明らかな事であります。青少年が行事等を通して地域の方々と交流し、大きく成長する源は「ひとの話を良く聞く事」に有る様に思えてなりません。お金や物を与えるばかりでなく、百歳まで通用する「三つ子の魂」を身につけさせてあげたいものです。



あひるの手紙
朽木 祥・作
ささめやゆき・絵



ゾウがとおる村
ニコラ・デイビス・作者
もりうち すみこ・訳



戦場のオレンジ
エリザベス・レアード・著者
石谷尚子・訳

優良書籍のご案内

冬は何かと家に籠ることが多くなる季節だと思えます。そんな時は、読書をしてみてはいかがでしょう。か？福島県において推奨されている図書をご紹介します。

大人が変われば、子どもも変わる県民運動

「福島県青少年育成県民会議」

が共に福島県青少年育成県民会議会長表彰を受けました。

11月21日、福島県文化センターで開催された第37回福島県青少年健全育成推進大会において、表彰式が行われました。

【青少年指導者の部】江川スポーツ少年団バレーボール部 筒井 正行さん
【青少年団体・青少年育成団体の部】 檜の葉見守り隊

福島県青少年育成県民会議会長表彰

書道が教えてくれたこと

旭田小学校5年
酒井柚葉



みなさんは、自分の良さを知っていますか。これだけは人に負けたくないという、自信があることや得意なことを持つていますか。

そう聞かれて、自信をもつて答える人は少ないと思います。わたしもそうでした。周りの友達が、勉強が得意たり運動が得意たりしていることと自分を比べ、不安な気持ちがありました。私には、自信があることや得意なことが何もないなあ。今思うと、そこには、何をやるにも自信がもてない自分がいました。

私は今、習字を習っています。私と書道の出会いは、三年生の四月ごろ、お母さんに勧められたことがきっかけでした。小さいころから文字を書くのが大好きで、一・二年生の時には、こう筆の部で教育長賞や町長賞などを与えられたことがありました。そんな私

笑顔の力を、あなたは知っていますか？笑顔にはすてきな力があると思います。

わたしがそう思うようになったのは、よさこいとの出会いがあったからでした。「人生が変わる」その一言から始まりました。

わたしは、四人兄弟の末っ子です。上を見て育っているのでしたっけ。出るね、と言われますが、感情が表に出やすく分かりやすいとも言われます。わたしも、それは自覚しています。

のことを考えて勧めてくれたのだと思います。当時の私には、書道が特別なものではありませんでした。しぶしぶ始めたものの、書道の魅力に引き込まれていきました。第二日は、筆で動物のすみ絵を描くことでした。第二日は、自分の名前を書いたことを鮮明に覚えています。初めての習い事だったこともあり、家族から離れ、一人で何かに取り組む新鮮さに、大人になった気持ちで筆を持ち、半紙に向かったことを覚えています。最初の七夕展で、何度も何度も一生懸命に練習した作品を出品しました。何日か経って結果が発表されました。残念ながら特選でした。初めてにしては十分でしたが、くやしくて泣いてしまいました。お母さんに支えられ、あの時のくやしさをばねに、今も頑張り続けています。学年が上がるにつれ、画

数も増え、止めやはらい、はねが難しくなっていました。高学年になると、他の習い事や水泳練習などで、疲れて行きたくない時もありましたが、やればできるという強い気持ちをもち、頑張っています。最高の賞でない時の方が多くけれど、次こそはという気持ちがあるからこそ、こうして書道を続けてこれたんだと思います。

私は、自分の思いや考えを、相手に伝えるのが苦手です。きん張してしまい、自信をもつて堂々と発表することが苦手だからです。そんな自分に合っているのが書道なのです。真っ白い半紙に心を込め、手本と対話し、一画二画筆を入れていく。集中し気持ちを込め、納得のいく作品は完成しません。まるで、今の自分の心を表現しているようです。

書道を通して、たとうまくいか

いて直したいと思っている性格の一つです。悲しい時に泣き、楽しい時に笑う、それはあたりまえのことです。感情の出やすいわたしは、いやな時の気持ちの外に出てしまいます。だれにでも自分の好きなところと、きらいなところがあると思います。わたしはこんな自分を変えたいと思っていました。そんな時に言われたのが「人生が変わる」という言葉でした。それはきつと、自分自身が変わるのだと思います。

わたしはその言葉に動かされよさこいのチーム「郷人」に入ることを決めました。

全国のようなチームの一番のイベントは「よさこいソーラン」という北海道で行われる大会でおどることです。「郷人」の人たちの練習は大会が近づくとほぼ毎日ありました。わたしは入って二カ月で不安もありましたがその大会でおどるために練習をがんばりました。

そして本番当日。移動中はな

なかつたとしても、常に目標をもつて根気強く頑張ることの大切さを学びました。これは、どんなことにも言えると思います。そこには、家族や先生の支えがあること、競い合い応援し合える仲間がいることを気付かせてくれました。

私は、自信ある書道だけは誰にも負けたくありません。これからも、自分の心と向き合える書道を続けていきたい。いつか満足のいく賞をいただいて家族を喜ばせ、もつと自分のよさや可能性を伸ばしていきたいです。

ごやかなふんいきでしたが、いざ本番となると切りかえが早くピリツとした空気になりました。本番前。「楽しんでこいよ！」などたくさんのはげましがあったため、きんちょう感が消えおどりに集中することができました。

わたしには、おどっている時のめあてがありました。それは、見てくれるお客さんを笑顔にすることです。わたしは、友達を笑わせることが好きです。おもしろいことを言っただけ



ぼくの夢

榎原小学校 5年
杉本浩夢

ぼくには夢があります。ぼくの夢は、プロのサッカー選手です。サッカーを始めたきっかけは、お父さんとお母さんにすすめられたからです。だんだんサッカーの全てが楽しくてたまらなくなってきました。今もその気持ちに変わりはありません。

ぼくは、毎週水・木・土曜日に練習をしています。土・日曜日には試合をする時もあります。学校で水泳練習をした後は、体が重くともつかれていますが、そういう時こそ、スタミナをつけています。今、ぼくは会津地区のトレセンに選ばれています。トレセンというのは、トレーニングセンターの略で、その地区の優秀な選手を育てる制度です。今は

まだ、会津地区のトレセンですが、もつともつと練習を重ねて、うまくなつて、福島県、東北、そしてナショナルトレセンに選ばれたいです。

ぼくが目指している選手は、長友佑都選手です。長友選手は、体格は他の選手より小柄ですが、そのハンドを感じさせない位、体力があります。また、ディフェンダーなのに、前線までかけ上がってクロスを上げる所がかっこいいです。サイドを上がったリ、下がったりできるスタミナと足の速さは、本当にすごいと思います。

他にも、海外に目を向けると、すばらしい選手がたくさんいます。ここで、三人紹介したいと思います。今は、ワールドカップ期間中なので、みなさんも分かるか

もしれません。一人目は、ブラジル代表のネイマール選手です。ネイマール選手は、全く予想のつかない、あざやかなドリブル突破が、すばらしいです。試合中に見せる、様々なテクニクやわざにもいつも魅了されます。二人目は、アルゼンチン代表のメッシ選手です。メッシ選手の武器は、シュートやパスの正確なコントロールです。フリーキックの精度や技術が他の選手に比べて、とてつもなくうまいと思います。三人目は、ポルトガル代表のクリスティアーノ・ロナウド選手です。クリスティアーノ・ロナウド選手は、けた外れのパワーとスピードが武器です。相手に囲まれても、わざを使つて抜く事ができ、とてもかっこいいです。ぼくも、この三人のよう

に、世界の人々をわくわくさせることのできるサッカー選手になりたいです。

ここまで、ぼくの夢について話してきました。実は、浩夢という、ぼくの名前には、夢という漢字が入っています。今まであまり気にしたことはありませんでした。が、ぼくがこうして十才なりに夢を持てるのも、この名前のおかげかもしれません。ぼくは、この夢をかなえたいし、たとえ、将来夢が変わっても、ずっと夢を持ちつづける人でありたいです。最後に、みなさんは、どんな夢を持っていますか。



笑顔の力

江川小学校 5年
星 葵

り変な顔をしたりすることで笑ってくれるとうれしいです。それにわたしが落ちこんでいる時、友達の手を見たとほっとします。でもそんなわたしは笑顔を作るのが得意ではありません。笑顔は作るものじゃないと思うかもしれませんが、ちょっとした時に出る自然な笑顔が必要ないで出せたらいいなあと思っていました。でも、じつさいおどつてみたら自分でもおどろくぐらい自然に笑

顔でおどろくことができました。見ているお客さんも笑顔でした。笑顔で笑顔で返す。そんなきょうな体験ができました。笑顔っていいなあと改めて思いました。

わたしは、よさこいとおして本当の笑顔を知ることができました。努力をして自分に自信をつけること、それが笑顔になるための第一歩だと気づかされました。

今後わたしは何にたいしても努力をして自分に自信を持ち、心からの

笑顔ですごしたいです。笑顔でいることは、わたしのしあわせです。だれにとつても、そうだと思います。わたしは自分だけでなく周りの人も笑顔にして、周りの人のしあわせにもかわつていきたいです。

「笑顔」それには、人をしあわせにし、人の心と心をつなぐ大切な力があります。そしてもう一つ。笑顔には、「人生を変える」力があります。これからの、笑顔の力を信じ、しあわせなつながりをふやしていきたいです。

大切な動物の命



旭田小学校 6年
湯田愛加

「ワン、ワン。」

そのかわいらしい声を初めて聞いたのは、私が保育所のおときでした。私は、小さいころから犬がほしくて、家族に何度もお願いをしていました。お父さんやお母さんに、

「おばあちゃんやおじいちゃんには、動物があまり好きじゃないから…」

と言われながらも、私はあきらめませんでした。するとある日お母さんに、「犬を一匹だけなら、飼ってもいいよ。でもしつかりお世話するんですよ。」

と言われました。私はとてもうれしくて、あまり深く考えずに、

「うん。」

と元気に返事をしました。今までになかったほどのうれしさがこみ上げてきたことを覚えています。

みなさんの家のおにぎりはどんな味がしますか。ぼくの祖母の作るおにぎりは具はありません。でも不思議な力を持っているのだということに先日初めて気づいたのです。

ぼくの家には祖母がいます。母方の祖母で、今年で八十才になります。畑仕事をやっていて、冬以外は家にいることが少ない元気な祖母です。かぜをひいたり入院したりした記憶がありません。

祖母は、よく学校に迎えに来てくれました。母が仕事で遅いときなど、わざわざ畑仕事の手を休めて必ず来てくれました。どしゃぶりの雨の中、ぼくのためのかさを二本持つて学校へ

数日後、うちにかわいいミニチュア

ダックスフンドがやってきました。ミニチュアダックスフンドの特徴は、耳がたれていて、足が短く、どう体が長いことです。私が、その犬をだつこしようとする、私から一生懸命にげようとした。まだ二歳とは思えないほどのスピードでした。私はその犬に、「はな」という名前をつけてあげました。それからははなは、どんどん大きくなりました。今も、とても幸せそうに私の家に住んでいます。

しかし、みなさんは、世の中には殺処分されるペットがいることを知っていますか。殺処分とは、飼いがわからなくなった動物や飼うことのできなくなった動物などを、殺してしまうことです。私は先日、殺処分を特集し

た番組を見て、信じられない気持ちでいっぱいになりました。今も年間何万頭の動物が殺処分されています。あの施設を特集したその番組では、持ち込まれて五日間引き取り手が見つからないと、窒息死させてしまうと言っていました。とても驚いて、こんなことが世の中にあるなんて…と悲しくて悔しい気持ちになりました。

でも、そんな動物たちを救うために頑張っている人もいます。施設に持ち込まれてきた動物を保護して、新しい飼い主を探す活動をしている人たちです。新しくペットがほしいと考えている人の中には、ホームページなどを見て、動物を引き取りに来る人もいます。

新しい家族として引き取られていく

けしかまぶしていないおにぎりです。それなのになぜか、中に具がいっぱい入っているみたいで、固すぎずちょうどよいやわらかさでほかほかしていてもとてもおいしいです。帰るころにはすっかりおなかがいっぱいになっている。あつという間にたいらげてしまします。祖母のおにぎりを食べると不思議にいやなことも疲れていることもふつとんでしまします。祖母はぼくの姿を見ていつもにこにこ笑っています。いつもぼくのために世話をやいてくれることがうれしくて、ありがとうと心の中では思っています。でも声にして言うことはあまりできませんでした。

こんな祖母にたつた二回しかられへ

動物を見て、私は少しほっとしました。

この番組を見て、私はもう一度はなのことを考えてみました。はなは本当に幸せなんだろうか…それは、はなに聞いてみないと分かりません。これまでも、毎日のご飯や散歩を欠かさず、たくさん遊んであげようと思っていました。また改めて、はなを大切にあげようと思いました。動物も、人間と同じ大切な命をもっています。人間の勝手な気持ちでその命を奪うことは絶対に許されません。まずは、身近にいる動物がちゃんと幸せに暮らしているのか…自分の勝手な気持ちで動物を苦しめていないか考える必要があると思います。人間も動物も仲良く暮らせる社会になればいいと思います。

たことがありました。もつと何度もしかられたことがあつたかもしれませんが、この二回が不思議と心に残っています。六年生になつてすぐ、スポーツのソフトボールの練習日が多くなり、学校でも委員会の仕事や運動会の練習で昼休みも遊べないくらい忙しかつた頃のことです。疲れて帰つて来たばかりは、ゴロゴロしながらテレビをみていました。祖母が、

「翔太。宿題早くやつたら。」

と二言だけ言いました。ぼくは、

「うるさい。だまつて。」

と祖母の顔も見ずにきつい口調で言い返しました。初めての気がします。すると祖母は、



たくさんの方々への感謝

榎原小学校 6年
弓田明佳音

「どうしたの、明佳音さん」とやさしく声をかけてくれます。周りから見れば、ごく普通で何気ない言葉のように思えますが、私はいつもうれしくなります。また、私の地区が弥五島なので電車で通っているのですが、電車の時間が迫ってくると榎

原つ子の先生方は、私が元気がない時に「原つ子の先生方は、私が元気がない時に」私には、日ごろ感謝しなければならぬ人がたくさんいます。まずは、児童クラブの方です。児童クラブとは、春休み、夏休み、冬休みの期間、町の公民館で一、四年生までお世話をしてくださる所です。児童クラブがあつたおかげで、長い休みの間、家で一人で過ごすことなく、友達と遊んだり勉強したりしてました。楽しく過ごせたのも児童クラブの方々のおかげです。

次は榎原つ子クラブの方々です。榎原つ子の先生方は、私が元気がない時に「原つ子の先生方は、私が元気がない時に」私には、日ごろ感謝しなければならぬ人がたくさんいます。まずは、児童クラブの方です。児童クラブとは、春休み、夏休み、冬休みの期間、町の公民館で一、四年生までお世話をしてくださる所です。児童クラブがあつたおかげで、長い休みの間、家で一人で過ごすことなく、友達と遊んだり勉強したりしてました。楽しく過ごせたのも児童クラブの方々のおかげです。

またまだ感謝しなければならぬ人がたくさんいます。学校生活では、たくさんの友達にいつも支えてもらっています。先生方には人が生きていく上で大切なことを教えていただいています。そしていつも身近にいる家族には、誰にも相談できないことを聞いてもらっています。私の心の支えです。私は、たくさんの方々に支えてもらって生きています。普段の何気ないこと

ですが一度立ち止まって考えてみると感謝、感謝でいっぱいなんです。その感謝する気持ちに対して私は何をすべきなのか、改めて考えてみました。毎週運動会でよさこいの指導に来てくださる一さんが「自分が思っているだけではだめだ。そのたくさん思いを、体で表現すること」とおっしゃっていたことを思い出し、次の三つのことを実践することに決めました。

- ① あいさつを自分から行うこと
- ② 友達の気持ちに寄りそうこと
- ③ 自分がやるべきことを一生懸命行うこと

私がここで主張したい一番の目的は、今まで伝えてきた感謝の気持ちをこの場で伝えたいと思ったからです。いつもいつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。



祖母のおにぎり

江川小学校 6年
星翔太

「そんな言い方すんじゃない。」とおこつてとなりの部屋へ行き、裁ほうを始めました。イライラしていたぼくは「いちいち言わなくて分かってる。疲れてるんだから。」ともつとイライラしてきました。でもいつもと違う祖母の様子を見て「ああ、何であんなこと言つたんだろう。」と後かいました。でもやつぱりすぐぐめんなきが言えませんでした。夕飯のときも顔を合わせたけれど気まずいまま、祖母の作ってくれたコロッケもおいしく感じませんでした。ずっと同じことが頭からはなれず、学校に行つて

も、モヤモヤしていました。いつもとはちがう変な感じがしました。ところが学校から帰るといつもどおり机の上には、おにぎりが三つ皿の上にあがりました。ぼくの好きないつものおにぎりです。ぼくは「おばあちゃん、許してくれたのかな。」と思いました。おにぎりを食べながら、あやまろうと決めましたが、何と言つてよいかわからず、結局またあやまれませんでした。からの皿を見ながら心残りがあつた、苦しかったです。

しかし次の日の夕方またいつものように祖母のおにぎりがあつた。ぼくは、ランドセルを置いて祖母のところに直行しました。「この前はごめんさい。」とぼくが小さな声で言うとうと、「今度は言わないんだよ。」と本当にやさしく許してくれました。あやまるとそれまでのモヤモヤがなくなりました。その日のおにぎりの味はいつもにもまして最高でした。

そしてぼくは、おにぎりを食べながら、いつもどおりにすこせることがどんなにありがたいか分かりました。いくら家族でも人に当たるのはよくないし、祖母にしてもらっていることを改めて考えるとやつぱり言つてはいけな

2015/1/1

No.139

●編集・発行

下郷町青少年育成町民会議
(町教育委員会事務局内)

〒969-5345

福島県南会津郡下郷町大字

塩生字大石 1000

TEL.0241-69-1168

FAX.0241-69-1167

賀正

今年は未(羊)年です。

【ひつじ】群れをなす羊は、
家族の安泰示し、いつま
でも平和に暮らす事を意
味しています。

さて、羊はどうして「未」
と表わすのでしょうか？

十二支を子丑寅…とか
ぞえて亥に終わる十二進
法という数え方があります。
その八番目が「未」
にあたります。この数詞は、
もとは子(=種子)から
始まり亥(=核、結実して
しんができる)に至る植
物の発達段階を十二段に
分けて表したもので、未
はまた熟しきらない成長
途上の植物を表している。
つまり未熟の「未」という
意味です。

なぜ未→羊となったか
といえば、単に人々に広く
覚えてもらうために十二支
に動物があてられたよう
です。

未年にちなんで、羊の
ように家族揃って仲良く寄
り添って暮らせる一年にし
たいものです。

2 家庭教育について考えよう！

～家庭で、地域で、子どもに愛を
伝えよう～

- ①あいさつをする習慣をつけよう
- ②生活のリズムをつくろう
- ③家族の会話を大切にしよう
- ④子どものいいところを伸ばそう
- ⑤家族の一員として役割を持たせよう
- ⑥社会生活のルールを教えよう
- ⑦感謝と思いやりの心をはぐもう
- ⑧いろいろな体験をさせよう
- ⑨うちの子もよその子もみんなで育
てよう
- ⑩【わが家のきまりを決めよう！】



公民館主催の「家庭教育学級」での
様子。今年度は①小板萩・倉水中山・
三ツ井・新開・戸赤②檜原・桃曾根③
大松川・南倉沢で実施しています。

3 インターネット利用について

携帯電話・インターネット利用上の注意点

青少年のインターネット利用に伴うトラブル・危険及び過度の利用による弊害

【保護者向け】

- ・フィルタリングを利用しましょう
- ・利用状況を把握しましょう
- ・家庭でのルールづくりをしましょう
- ・携帯型ゲーム等のネットができます

【青少年向け】

- ・いじめやトラブル等に遭ったら、すぐに親や先生等に相談する
- ・ルールやマナー、法令を守る
- ・匿名でないことを理解する

お子さんのインターネット利用状況について、大いに関心を持ってください！

1 冬期休業について

町内各小中学校の児童・生徒が、
冬期休業に入ります。

期間／平成26年12月23日(火)～

平成27年1月7日(水)

冬休みは正月の伝統行事等も行わ
れ、子ども達とふれあう絶好の機会で
す。家族の一員として家の仕事に参加し
てもらったり、家族そろってお正月の遊
びを楽しんでみてはいかがでしょうか？

～注意しよう！冬の事故～

- ◎屋根からの落雪・落水による事
故を防ぐため、軒下を歩かない。
- ◎道路脇の雪山の上を歩いたり、
雪山から飛び出さない。
- ◎河川や池などに近づかない。
- ◎外出のときは「行き先」「帰宅時
間」を伝えてから出かける。(暗
くなる前に必ず帰る。)
- ◎火遊びは絶対にしない。人気の
ない所には一人で行かない。

～防ごう！感染症～

- ◎外から帰ったら必ず「手洗い・う
がい」をする。
(インフルエンザ、ノロウイルス等
の感染症予防)